

しんじょう市議会だより

No.124
2014.5.13



日新小入学式

— 小さなむねに 大きな夢をひめて —

平成25年度一般会計は4億3,630万1千円を追加し、

総額

165億8,960万9千円に決定

本会議の審議から

3月定例会に市長から出された案件は、平成25年度新庄市一般会計補正予算（第4号）の専決処分の承認についての報告等3件、新庄市人権擁護委員の推薦に関する諮問への意見を求めることについて等 及び、消費税が5%から8%へ増税されることに伴う、新庄市施設使用料金の改定について等、合計43件でした。2件承認、1件了承、1件同意、議案40件を可決決定いたしました。

老人福祉費について

Q 社会福祉施設等開設準備資金4800万円はどのような内容か

A 新設の養護老人ホーム、特別養護老人ホームの開設に係る交付金で、新庄市を通して国から事業者に補助されるものです。1床当たり60万円の設備費として扱われます。

児童福祉総務費について

Q 第3子以降児童の保育料免除事業費補助金がマイナズ618万円になったのはなぜか。

A 市の単独事業として新規に実施したものです。当初、月4万円の補助で18名分、864万円と試算して、

補助を予定していましたが、該当者が少なかったための減額となりました。

民生費社会福祉費について

Q 国保事業特別会計への一般会計からの法定外繰り入れは「原則やめるべきだ」という国保運営協議会の答申が生かされなかったのはなぜか。

A 大変重い決断をしていたのだと思います。新年度は消費税の増税や農業政策の変換により補助金の減少が予想され、市民生活の負担が増すと思われます。負担軽減を図るため市としての精いっぱい努力です。

Q 国保会計への法定外繰り入れは、なぜ26年度の当初予算にではなく25年度の補正で処理することになったのか。

A 当初予算では歳入を低めに見積もる傾向にあるが、年度末では諸事業の終了、また国県の補助金の確定などで財源が生ずるため、これを国保会計に繰り入れるものです。

3月定例会の経過

| | |
|---------|-----------------|
| 3月5日(水) | 開会 (議案説明等) |
| 6日(木) | 本会議 (一般質問5名) |
| 7日(金) | 本会議 (一般質問4名) |
| 10日(月) | 常任委員会 (総務文教) |
| 11日(火) | 常任委員会 (産業厚生) |
| 12日(水) | 予算特別委員会 |
| 13日(木) | 予算特別委員会 |
| 14日(金) | 予算特別委員会 |
| 19日(水) | 最終日 |



何だかんだ言っても
春はこころが

ウキウキするのお

とぴっくす

平成26年3月定例会

議会案第1号

新庄市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について

政務活動費の減額を廃止

議員の調査研究のために活用する政務活動費について、市の財政状況を考慮して本来議員一人あたり月額15,000円のところを月額5,000円に減額措置をしていました。このたび、この減額措置を廃止して本来の月額15,000円に戻す条例を可決しました。議会として住民の福祉向上に資するため、さらなる調査研究活動に努力していきます。

議案第5号

新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について

国民健康保険税の税率を改定

市の国民健康保険事業が、保険給付費の増加や国庫負担金の減少などにより非常に厳しい状況となっています。このことから、議会においても慎重な協議を重ねた結果、国民健康保険制度の適正かつ安定的運営を確保するため、国民健康保険税の税率を引き上げる条例を可決しました。

議案第6号

新庄市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について 他

消費税率の引き上げに伴い使用料などを改定

4月1日から消費税率が8%に引き上げられることに伴い、市民プラザ、雪の里情報館、歴史センターなどの各種公共施設の使用料・手数料、水道料金、下水道料金などを3%相当額引き上げる条例を可決しました。

議案第24号

平成25年度新庄市一般会計補正予算（第5号）

一般会計の補正予算を可決

4年連続の大雪に対応するための除排雪経費の追加を含め、4億3,630万円の一般会計補正予算案を可決しました。

主な事業

- 市有施設整備基金積立金……………1億円
- 国民健康保険事業特別会計繰出金……………3,000万円
- 道路の除排雪費……………2億4,418万円
- 明倫中学校校舎及び八向中学校体育館耐震補強工事……………6,946万円

40万円に決定

予算特別委員会

平成26年度一般会計、7事業の特別会計、水道事業会計予算を審査するため、全議員で構成する予算特別委員会を設置し、3月11日、12日、13日の3日間慎重な審査を行いました。交わされた質疑の中から主なものを紹介します。

一般会計（歳入）

市民税について

Q 市民税、都市計画税、固定資産税の微増予測の根拠は何か。

A 特別徴収が進んできていることに加え、家屋建築の増、工業団地の工場増築等、確実性の高い収納が見込まれるためです。

ふるさと納税について

Q お礼に特産品を送ることなどして、著しく伸ばしている自治体がある。本市の取り組み姿勢について聞きたい。

A お礼品としての山形牛や

つや姫が好評です。より戦略的な意図をもって制度を活用し、新庄市の紹介を強化していく予定です。

一般会計（歳出）

民生費について

Q 生活扶助費の増加が目立つ。受給対象者を増やさない対策は講じているのか。

A 1月末時点で194世帯、267名が対象となっています。高齢者世帯、傷病者世帯が半数ですが、近年稼働年齢層であっても職に就けないことでの受給者増が全国的に増えています。市では就労支援等を促してまいります。

市民対策費について

Q 町内街路灯の電気料金の内訳は。

A 各町内会に設置してある街路灯、防犯灯の料金をトータルして、地域からの補助申請があれば3割を補助します。尚、修繕費に関するの補助はありません。

学校教育指導事業費

Q 謝金の内訳は。

A 地域コーディネーター14名、地域学校安全指導員2名、山大教授による小、中学校の巡回相談、他に研修会等に当てられます。

小学校管理運営事業費とは

Q 通学路の危険箇所点検に際し、どのような用途なのか。

A ガードレール、歩行者通路等、要望があってもすぐには対処できない場合に、路面表示をして車両や歩行者に注意喚起を行います。他に、児童生徒の登校時の安全対策として交通安全指導員を配置しています。

Q 学校給食における地産地消促進事業補助金とは。

A 小中学校の米飯給食に関する補助金。週5回実施しています。約7割の補助。

Q 教育総務費の各種大会出場補助金の使途について伺いたい。

A 昨年9月の決算特別委員会で、金額が少ないのではという意見を踏まえて増額しま

した。3倍で提案させて頂きました。今年度の見込みを基礎として、今後は宿泊費、交通費、大会参加料の半額を補助と考えています。

小中学校への冷房の設置について

Q 小学校管理費、中学校管理費合わせて2億3千万円計上で冷房化を進めるようだが。

A 児童、生徒の体調管理を最優先に考え保健室、読書環境の整備として図書室に設置します。また、職員室に、夜間の事務、夏季の労働環境の改善として整備を行います。普通教室については今後検討を重ねてまいります。

「わくわく新庄」に調理室を設置することについて

Q 地区のサークルや団体で設置の要望があるがプラザ利用を、と言われる。厨房機器を整備して、地区住民の利便性を図るべきでは。

A 現在は、IH式の湯沸し機と調理器具があるが、調理室といった形にはなり得ない。簡易的な設備での対応は検討してまいります。

平成26年度一般会計予算案は

総額

163億3,4

防犯灯整備事業費について

Q 事業内容を詳しく伺いたい。市内に防犯灯はいくつあるのか。

A 防犯灯のLED化を進める事業です。市内には3769灯があり、初年度は市街地2町内の54灯の改修に取り組みます。

非常備消防費

Q 防災対策推進事業費による備品購入について伺いたい。

A 非常用発電機、災害用備蓄毛布、簡易トイレ等を揃えます。発電機は、中学校区ごとに学校施設等に1台ずつ配置。防災備蓄品保管の為に新たに2・9坪の倉庫を建てます。

6次産業化推進事業費について

Q 600万円のうち、農と食による地域の魅力創造事業補助金300万円の使用用途は。

A 総務省の地域おこし協力隊、県単位の地域の魅力創造

事業補助金を活用したソフト事業で、内容は地域の特産品のリストアップ、伝統食材やレシビ、それに関わる人材の掘り起こしです。都会の目線でブラッシュアップしていきます。

農業振興費

Q 青年就農給付金の内容は。

A 新たに農業を開始する45歳までの人が対象で、「一人農地プラン」に位置づけ。1名につき年間150万円を給付するもので、本年度は25名分を確保しています。

循環型堆肥製造事業費について

Q 生ごみの堆肥製造事業の見直しを図り、農産物の生産力向上にシフトすべきでは。

A 平成11年から環境保全・地域循環堆肥製造事業として行っています。歴史的経過をたどり、改めて費用対効果等を検証していきます。

雪対策について

Q 雪に強いまちづくり事業費補助、生活道路排雪事業費

補助金について伺いたい。

A ①地域で自ら行う除雪作業に対する補助。②私道に消雪道路をつけたという場合に工事費の負担を補助。③除雪機械を地区で購入する場合に補助します。

Q 泉田・二枚橋線の防雪柵の整備はどのように進めるのか。

A 全長約1000mの内、26年度は二枚橋から約300m区間に設置。国の社会整備総合交付金を充当します。

住宅リフォーム補助金について

Q 事業が継続されるのか。

A 評判の良い制度で、利用者が拡大しています。今年度は190件と予想しています。高齢者に配慮した住宅の他に、バリアフリー、克雪対策も含まれています。

神室山避難小屋について

Q 改修してまだ3年だが、屋内への水漏れが発生している。対策が急務。

A 認識しています。2階ドアの改修と、外壁塗装に取り組み改善を図ります。

**平成26年度
予算案に異議!**

**修正案
を
可決**

イス1グランプリ実行委員会負担金70万円を減額する修正案を提出しました。近年は市の財政状況が上向きになったとはいえ、これまで財政再建において市民が関わる多くのイベントなどが廃止や縮小されてきたことを考えれば、新規の事業は慎重に行なうべきと考えます。

昨年開催されたイス1グランプリは大変好評でありましたが、市に与える経済効果や今後の事業の見通しなどの検証がなされていないと修正動議が提出され、賛成多数で修正案を可決しました。

3月定例会で審議された議案等

| 種類 | 番号 | 件名 | 結果 |
|---------------|------|--|----|
| 【市長提出】 | | | |
| 報告 | 第1号 | 新庄市土地開発公社の経営状況の報告について | 了承 |
| | 第2号 | 平成25年度新庄市一般会計補正予算(第4号)の専決処分の承認について | 承認 |
| | 第3号 | 新庄市新型インフルエンザ等対策行動計画について | 了承 |
| 諮問 | 第1号 | 人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて | 同意 |
| 議案 | 第1号 | 新庄市特別職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の設定について | 可決 |
| | 第2号 | 新庄市市税条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 |
| | 第3号 | 新庄市社会教育委員条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 |
| | 第4号 | 新庄市体育館等の管理を行わせる指定管理者の指定について | 可決 |
| | 第9号 | 新庄市生涯学習センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 |
| | 第20号 | 新庄市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 |

| | | | |
|---------------|---------------------------------|--------------------------------------|----|
| 第24号 | 平成25年度新庄市一般会計補正予算(第5号) | 可決 | |
| 第25号 | 平成25年度新庄市国民健康保険事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | |
| 第26号 | 平成25年度新庄市公共下水道事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | |
| 第27号 | 平成25年度新庄市農業集落排水事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | |
| 第28号 | 平成25年度新庄市介護保険事業特別会計補正予算(第3号) | 可決 | |
| 第29号 | 平成25年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第2号) | 可決 | |
| 第30号 | 平成25年度新庄市水道事業会計補正予算(第3号) | 可決 | |
| 第33号 | 平成26年度新庄市交通災害共済事業特別会計予算 | 可決 | |
| 第36号 | 平成26年度新庄市営農飲雑用水事業特別会計予算 | 可決 | |
| 第37号 | 平成26年度新庄市介護保険事業特別会計予算 | 可決 | |
| 第40号 | 平成25年度新庄市一般会計補正予算(第6号) | 可決 | |
| 【議会提出】 | | | |
| 議案 | 第1号 | 新庄市議会政務活動費の交付に関する条例の一部を改正する条例の制定について | 可決 |
| | 第2号 | 消費税の軽減税率の導入を求める意見書 | 可決 |

議案に対する議員の賛否

※以下の審議された議案は賛否が分かれたものです。

○ → 賛成 ● → 反対

| 議案等番号 | 会派名 | 絆の会 | | | | | | 開成の会 | | | | 市明・公明クラブ | | | | 会派に属さない議員 | 採決結果 | | | |
|--------|--|------|------|------|------|------|------|------|-----|------|------|----------|------|-------|------|-----------|------|------|------|------|
| | | 石川正志 | 佐藤義一 | 小嶋富弥 | 清水清秋 | 新田道尋 | 山口吉静 | 森儀一 | 伊藤操 | 奥山省三 | 沼澤恵一 | 小関淳 | 遠藤敏信 | 高橋富美子 | 佐藤卓也 | | | 平向岩雄 | 小野周一 | 下山准一 |
| 議案第5号 | 新庄市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第6号 | 新庄市立学校施設使用条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第7号 | 新庄市民文化会館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第8号 | 新庄市公民館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第10号 | 新庄市雪の里情報館設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第11号 | 新庄市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第12号 | 新庄市屋内ゲートボール場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第13号 | 新庄市都市公園条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第14号 | 新庄市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第15号 | 新庄市火葬場設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第16号 | 新庄市農村環境改善センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第17号 | 新庄市昭和活性化センター設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |

| 議案等 番号 | 会 派 名 | 絆 の 会 | | | | | 開 成 の 会 | | | | | 市明・公明クラブ | | | | 会派に 属さない議員 | 採 決 結 果 | | | |
|----------------|--|----------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|---------|----------|----------|----------|----------|-----------|----------|---------------|------------------|----------|----------|----------|
| | | 石川 正志 | 佐藤 義一 | 小嶋 富弥 | 清水 清秋 | 新田 道尋 | 山口 吉静 | 森 儀一 | 伊藤 操 | 奥山 省三 | 沼澤 恵一 | 小関 淳 | 遠藤 敏信 | 高橋 富美子 | 佐藤 卓也 | | | 平向 岩雄 | 小野 周一 | 下山 准一 |
| 議案第18号 | 新庄市エコロジーガーデン設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第19号 | 新庄市駅前ふれあい広場の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第21号 | 新庄市農業集落排水処理施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第22号 | 新庄市下水道条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第23号 | 新庄市水道給水条例の一部を改正する条例の制定について | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第31号 | 平成26年度新庄市一般会計予算 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ○ | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第32号 | 平成26年度新庄市国民健康保険事業特別会計予算 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第34号 | 平成26年度新庄市公共下水道事業特別会計予算 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第35号 | 平成26年度新庄市農業集落排水事業特別会計予算 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第38号 | 平成26年度新庄市後期高齢者医療事業特別会計予算 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 議案第39号 | 平成26年新庄市水道事業会計予算 | ○ | ○ | - | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | 可決 |
| 請願第1号 | 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見提出についての請願 | ● | ● | - | ● | ● | ● | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ○ | 不採択 | |
| 平成25年 請願第6号 | 新聞の軽減税率に関する請願書 | ● | ● | - | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ○ | ● | ● | ● | ● | ● | ● | 不採択 | |

※議長は採択に参加しません。

議員発議による意見書の提出

☆消費税の軽減税率の導入を求める意見書

第180回通常国会において、社会保障と税の一体改革関連法が成立し、地方消費税を含む消費税の税率が平成26年4月に8%、平成27年10月には10%まで引き上げられることが決まった。

しかしながら、消費税率の引き上げは、低所得世帯をはじめとする一般家庭の家計への影響が懸念され、また、欧米諸国においても、食料品、日用品、一定の要件を備えた出版物等の生活必需品に対して軽減税率が導入されているところであり、一律に消費税の引き上げを行うことには議論があるところである。

よって、国においては、低所得者等に配慮した税負担の軽減を図るとともに、地方への影響を少なくするため、下記の措置を講じられるよう強く要望するものである。

1. 消費税増税にあたり複数税率を導入すること。

◇提出先 内閣総理大臣・財務大臣

請願の審議結果

| 件 名 | 請 願 者 | 紹介議員 | 結 果 |
|---------------------------------|---|------|------|
| 新聞の軽減税率に関する請願書 | 新庄市金沢前野2011-1 (有)山形新聞新庄専売所 所長 庄司 一也 他 | 遠藤敏信 | 不採択 |
| 「特定秘密の保護に関する法律」の廃止を求める意見書提出について | 新庄市大手町2-60 最上地区平和センター 議長 佐藤 勝幸 | 伊藤 操 | 不採択 |
| 労働者保護ルール改悪反対を求める意見書提出を求める請願 | 新庄市大手町2-60 連合山形新庄最上地域 協議会 議長 渡辺 裕一 | 小関 淳 | 継続審査 |

引き上げは
つらいの
おー



一般質問

一般質問は、3月6日と7日の2日間、9名の議員が行いました。質問の要旨は、質問者の原稿のとおり掲載しました。

3月定例会一般質問の質問者と質問事項

小 関 淳

1. 子育て支援医療制度について
2. 小・中学校の私費（保護者）負担と公費負担の区分などについて
3. スクールバスの保護者負担について
4. 保護者の意見を反映させる仕組みづくりについて

伊 藤 操

1. 高齢者へのわかりやすい対応について
2. 高齢者の社会参画支援について
3. 「地域の健康づくり」をテーマとした地域リーダー講座の在り方について
4. 健康福祉推進員の役割について

平 向 岩 雄

1. 持続可能な地域農業の実現を
2. 農業の6次産業化の推進について
3. 産米の消費拡大に関する条例の制定について
4. 老人クラブの育成に対する支援について

佐 藤 卓 也

1. 山形ディスティネーションキャンペーン（DC）について
2. インバウンド誘致について
3. 若者園芸実践塾（勇気塾）について

4. エコロジーガーデンからのまちづくりについて
5. Facebook（フェイスブック）の今後の活用について

奥 山 省 三

1. 空き家に関する条例について
2. 情報開示について

山 口 吉 静

1. 市営住宅の整備基準について
2. ふるさと納税制度の活用と今後のあり方について
3. 子ども安心カードの導入について
4. コンビニでの証明書交付について
5. 婚活事業について

高 橋 富 美 子

1. がん対策推進基本計画の取り組みについて
2. 医療・介護サービスについて
3. 子育て支援について
4. 生涯学習センターの充実について

小 野 周 一

1. 議会答弁の検討事項について
2. 新たな農業政策について
3. 消防団組織の充実について

佐 藤 悦 子

1. 消防団の待遇改善について問う
2. 子どもの医療費無料化の対象年齢の引き上げについて
3. 子ども・子育て支援新制度の問題点についての見解と対応を問う
4. いじめ問題について



小 関 淳 議員

『いつ、子育て環境をより充実させるのか』

◎新庄市から、子育て環境の充実した他の自治体などへの人口流出が止まらないようだ。まずは「子育て支援医療制度」を他の自治体並みに充実させ、子育て環境を整えるべきでは。

市長 本市では、市単独の制度として小学校3年生までの外来診療分の窓口負担について助成対象とする拡充を行っています。26年度においては、第3子以降児童の保育料免除事業や児童の数に応じた定住促進住宅の家賃軽減などを継続することにより、子育て世代の経済的負担の軽減を図りたいと考えています。子ども・子育て支援の強化は重要でありますので、状況やニーズを把握し、支援に



努めていきます。

◎消費税増税により子育て世代の経済的負担は増加する。曖昧な学校での公費負担と私費（保護者）負担を「学校徴収金事務規定」などでわかりやすくし、極力私費負担を軽減すべきでは。

教育長 学校徴収金事務規定については、公費と私費の区分を明確に規定するというところもありますが、主には学校納入金の適正かつ効率的な執行を図るためのものです。本市では、学校毎に会計処理マニュアルを策定して適正な執行を図っています。本市の教育活動費にかかる予算確保にあたってはハード及びソフト両面での充実を図ってきており、今後も子ども達の教育活動が更に充実するよう教育予算の確保に努めていきたいと考えており、それが結果的に保護者の負担軽減にもつながるものと捉えています。

『活力ある高齢社会に向けて』

◎高齢者の安心な生活のためには市からの情報の細やかな伝達も重要と考えられます。しかし、難しく説明されてもわからないという声が多いのが実情です。この課題にどのように向き合っていくのでしょうか。

市長 高齢者への対応としては、広報紙などでは、図表の掲載や一部文字を大きくするなど、見やすく理解しやすくするための工夫を行ってまいります。窓口や電話で相談があった場合についても、分かりやすく丁寧な説明は大切であると考え、接遇研修も毎年複数回実施し、分かりやすい説明や場合によっては方言を使うなどの接遇を目指しています。今後も、高齢者をはじめ市民の皆さんが相談しやすい環境整備、わかりやすい行政



伊藤 操 議員



情報の提供に努めていきます。

◎元気な高齢者の社会参画や就労を望む声が聞かれます。多様化するニーズに市ではどのように応えていくのか伺います。

市長 高齢者の社会参画のあり方として代表的なものとして老人クラブやボランティア活動への参加があげられます。老人クラブ活動も含めて高齢者自らが自分のニーズにあった活動を見つけていくことが出来るよう情報提供に努めていきたいと考えています。ボランティア活動の面では先進地での取り組み等を研究しながら元気で生きがいを持てる仕組みづくりを目指していきます。就労支援に関しては本市はシルバー人材センターへの参加をお願いしています。高齢者への就労支援は若年層の就労機会の確保と相反する難しい側面もありますが、今後とも関係機関と連携しながら進めていきます。

『持続可能な地域農業の実現を』



平向岩雄 議員

◎本市の農業は、稲作依存度が県内13市中最も高く、複合化率が低いため、減反や米価の下落で、農業経済は勿論、地域経済も低迷の一途である。ポスト減反の時代に備え、市が支援して農業の複合化を推進すべきだ。

市長 本市では、水田農業の担い手を育成するため、効率的で計画的な米づくりができるよう農地の利用集積を加速化しながら、施設野菜や園芸、畜産の導入等、農業経営の複合化により農業収入の向上と経営の安定が図られるよう推進していくべきと考えます。複合化の推進については、J Aと協議して決定した振興作物の生産に関する機械や施設等の導入について事業費の半分が助成されるよう補助を行います。生産拡大に努めています。

今後も引続きJ Aと連携し生産者の要望を把握しながら支援していきます。

◎地域農業再生を後押しするという農業の6次産業化推進法に基づき、国や県の施策を活用して、所得確保に積極的に対応すべきと思うのがか。

市長 6次産業化については、所得拡大や雇用の創出において非常に有効な手法と考えています。現在、特産品開発や事業化に向けた研修会を開催したり、商品の開発を進めるため関係課並びに県と協議を重ねているところで、事業支援についても受けていくことにしています。今後、農工商、消費者、流通部門の関係団体が連携し、専門家の助言・指導をいただきながら、商品の開発から販路の開発に至る6次産業化を推進していきます。



『新庄・最上の魅力を発信するために!!』



佐藤 卓也 議員

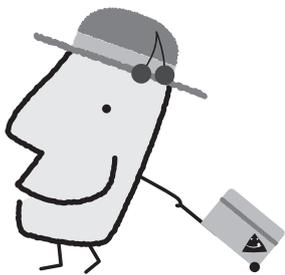
◎山形ディスプレイネーションキャンペーンが行われますが、新庄・最上を全国にアピールするため、各団体とどのように連携し、取り組まれていくのですか。

市長 本県では10年ぶり6回目の開催となるこのキャンペーンは、新庄・最上地域の観光資源や食文化をアピールする絶好の機会と捉えています。関係団体とともに当地域を訪れる観光客へのおもてなし事業を展開するための実行委員会を組織して官民一体となつて交流人口の拡大に向けて取り組んでいきます。また、継続的な誘客体制を確立するため、最上地域観光協議会に観光誘客プロデューサーを配置し、地域一体となった旅行商品の企画・開発・売り込みを行っていきます。

◎エコロジーガーデンをきっかけに青山学院大学総合文化政策学部と協定を結びましたが、今後どのように発展させ交流を広げていくのですか。

市長 平成21年エコロジーガーデンを拠点として始まった同校黒石研究室の活動は、中心市街地や農村部の郷倉などのフィールドワークへと、研究は建造物から地域の歴史・文化など多岐にわたり、新たな視点での提案をいただくなどまちづくりに多大な貢献を果たしています。昨年11月に「地域づくりのやまがた景観賞」を受賞したエコロジーガーデンは、「未来に伝える山形の宝」として保存登録されることも予想され、大学生の皆さんと多くの市民が交流することを期待し、拡大することにより多方面での活性化が図られると考えます。

山形日和。



『空き家等の現状について』



奥山 省三 議員

◎空き家等の適正管理に関する条例が施行され一年が経過しましたが、その現状についてお聞きします。また放置されている空き家について、条例の実効性も含めて今後の対応についてお聞きします。

市長 条例が施行されてから空き家として市が把握している件数は463件あり、そのうち、更地になったもの、活用されているものを除いた2月末時点で把握している件数は326件です。条例施行後に文書での指導書を43件に送付し、そのうち16件の回答や反応がありました。6件が更地、2件が前向きな回答、2件が管理者が明らかになるなどの進展もありましたが、関係者側で対応したくても費用を捻出できなかったり相続放棄しているケースもありま



す。何の反応もなかったケースについては今後も調査を継続して関係者に対して指導等を行っていきます。

◎市が出資している第3セクターの決算について、情報を開示すべきだと思えますが如何ですか。また開示しない理由はどのようにしてですか。

市長 具体的な情報開示については、市ホームページの決算資料において「第3セクター等の経営状況及び市の財政的支援状況」として公表しています。また、本市における第3セクターの団体に対しては、いずれも債務保証や損失補償等の債務負担は行っておらず報告団体に該当しないものです。本市の出資する第3セクターの経営状況につきましては、これからもその内容の把握を行うとともに健全な企業活動が行われるよう努めていきます。



山口 吉 静 議員

『人口減少に歯止めを』

◎男女が語り合える機会であるイベントを数多く開催すれば、カップルが誕生し、結婚することで子供が生まれ、人口減少の歯止めになると思いますがいかがですか。

市長 本市の婚活事業は最上8市町村の民間と行政から構成される最上広域婚活実行委員会に参加しており、今年度は5回のイベントを実施しました。また、このイベントに加え最上地域の企業の婚活に対するアンケート調査を実施し、今後の活動の基礎資料としました。今年度の事業結果を整理した上での課題やメリットを活かしながらニーズに応える出会いのイベントを来年度も実施していきます。

◎高齢者には、市役所は遠く感じます。市民の皆様にご利用しやすいようにコンビニでの



各種証明書交付を検討してはどうかお伺いします。

市長 高齢者の方などは、委任状により家族など代理の方が住民票の写し等の証明書の交付を受けられず。仕事の都合などで時間内に来庁できない方には、電話をいただければ午後7時まで時間外窓口で対応しています。現在、全国市区町村のうち4・6%81市区町村でサービスを提供していますが、多くの課題もあり全国的に進んでいない状況です。さらに、システムの改修が必要となり財政的にも相応の負担が生ずることとなるため、現時点ではコンビニ交付については時期尚早と判断し、今後においては、マイナンバー制度導入後の状況を見きわめ判断していきます。

『生涯学習センターの充実を』



高橋 富美子 議員

◎わくわく新庄には調理室がなく不便であり、避難所にも指定されていることから、早急に設備改善が必要と思われるますが、市ではどの様にお考えでしょうか。

教育長 わくわく新庄は、平成10年に開設しましたが、建設当時の認可の条件の中に調理室の設置が認められなかったという経緯があります。利用者から、調理室があれば便利だという声は何ついています。市民が利用しやすい施設として環境整備を実施していくことが市としての基本的な考えですので、どのようなニーズがあり、どの程度の設備が必要なのかなどについて総合的に考え、簡易的な設備で補えるのであれば検討していきます。

◎超高齢社会の到来に備え、

「地域包括ケアシステム」の整備が急務とされていますが、現状と課題及びその解決策についてお伺いいたします。

市長 地域包括ケアシステムとは、高齢者が可能な限り住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される支援体制です。本市におけるこのシステムの取組は、地域包括支援センターを軸とし、総合相談支援、介護予防支援等に力を入れています。今後の課題として、地域包括支援センターの体制強化と見直しが予定される地域支援事業への対応と考えています。現在、介護予防事業、おむつ支給事業、冬期生活支援事業等を実施していますが、今後見込まれる多様なニーズに応えるため介護ボランティア制度の導入など地域資源の効果的な活用も検討していきます。



『的確な議会答弁を』

◎市政発展を願う市民を代表する議員の一般質問に対して、「今後検討・協議をする」と終わる答弁があります。答弁に責任を負い、検討・協議事項の経過を議会に報告すべきではないか。

市長 本市としての方針が定まり、一定の結論が出ている質問については具体的に答弁できませんが、内容によっては予算の面や今後の見通しについて不確定な部分がありますと「検討します」とか「協議します」との答弁になることがあります。このような答弁の場合、経緯等の確認や質問があれば説明していますが、今後におきましても同様に、随時、報告・説明いたします。

◎消防団員の報酬年額は平成9年以降条例の改正がされておらず、処遇の改善が必要で



小野周一 議員

す。国における報酬年額の算定基準や周辺町村と比較検討し、改正が必要な時期と思われるがどうお考えか。

市長 本市の消防団には報酬のほか出場、訓練、警戒手当を年額で支給しています。新庄最上地区の町村と比較しますと若干額が低い状況です。消防団の強化、地域における防災体制の強化の2つを基本的施策とし地域防災力の強化を図るため平成25年12月に制定された「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨や他市町村の動向、消防委員会の意見等を踏まえながら、処遇の改善を図ってまいります。



『子どもの医療費完全無料化の拡大を』



佐藤悦子 議員

◎県内で、子どもの医療費無料化が小3までというのは、新庄市だけです。その上窓口負担があるのも少ないです。年齢を引き上げ、完全無料化を広げては、いかがですか。

市長 本市の取り組みについては、子育て支援医療費助成事業の他に、認可外保育施設支援事業や第3子以降の児童の保育料免除事業など他市町村で実施していない支援施策も展開しています。子育て支援医療費助成事業については、安心して子育てできる環境整備を図るうえでも重要な有効な支援策の一つと考えていますが、対象年齢の引き上げについては今後の県の動向を注視するとともに、本市が行う他の子育て支援施策とのバランスを考慮したうえで判断してまいります。

◎子ども・子育て支援新制度では、保育の必要量の認定があり、必要量を超えたら、全額保護者負担になるのでは。待機児童をなくすため、認可保育所を増やしてはどうか。

市長 新制度では保育所や幼稚園等に入所入園を希望される場合は、市に申請していただき保育の必要性の認定を受け、認定結果に応じて希望する施設を選択することになります。利用者負担については現行制度の水準を基本とし、所得階層、利用時間の長短の区分ごとに負担を設定することを基本としているため全額自己負担にはなりません。待機児童対策として、新制度に向け幼稚園の認定子ども園への移行といった新たな動きが考えられることから公立保育所が担う役割や少子の動向などを考慮したうえで判断いたします。



常任委員会 視察報告

総務文教常任委員会

○日程 1月23日～1月24日

○議員

石川 正志 高橋富美子
沼澤 恵一 小野 周一
清水 清秋 小関 淳
新田 道尋 下山 准一

○視察地及び項目

1. 埼玉県朝霞市

総合窓口化について

2. 東京都武蔵野市

コミュニティバスについて

○所感

ワンストップサービスの推進、正確な事務処理と親切な接客、そして受付・処理の迅速化を目標に掲げ、市民の利便性と満足度を高めるため平成19年4月に総合窓口を設置している埼玉朝霞市を訪れ、視察を行った。

ここで朝霞市と新庄市を比較しながら今回の視察を検証してみる。



朝霞市の場合、新庄市でいう市民課、税務課、健康課、成人福祉課、子育て推進課、学校教育課が同じ窓口にあるため、子育て世代が転入した場合、住民異動、入学手続き、子育て支援等の手続きが一ヶ所で済む。新庄市の場合、転入・転出が多い時期（3月25日～4月8日）に集中窓口を設置し、十分な対応がされている。また、朝霞市では、受付から3分以内で手続きを終了させると伺ったが、本市の場合、比較的時間のかかる戸籍関係においても概ね5分程度で済むので、市民の皆様がイライラまで至らないのではと感じている。また、住民票の写しの発行数を見ると朝霞市、約39、000件、新庄市約17、000件（平成24年度）となり、人口比0.28（新庄市／朝霞市）を考慮しても、新庄市の窓口業務を大きく改善しなくても市民サービスを維持できると考えられる。

「親切な接客」といった観点から、朝霞市ではフロアマネージャー（人材派遣会社との業務委託契約）を2名、総合窓口配置し、来庁者の誘導や職員との連携構築により、効果的かつ効率的な窓口運用と案内業務が図られている。これまで以上の親切丁寧なフロアマネージャーの対応は来庁者から好感が持たれているとの事だった。新庄市においては、本庁舎玄関左側に総合案内を設置し来庁者への案内や各課においても迷っている方への積極的に声掛けを行っているとのことだったが、職員研修などを通じて更なる接客態度の向上に努めて頂きたい。同時に構造上の制約もあるが、総合案内窓口は来庁者から見ても、中の職員から見てもお互いに見え難く、「より開かれた行政」を図る工夫

は出来ないものか検討の余地がある。

審議中であるが、本庁舎の耐震診断結果を踏まえ危険性の除去が最優先とされる中、築50年を経過した同庁舎の更新は早くても15年後位と推測される。新しい庁舎を設計する上で、市民と行政の垣根でもある窓口業務の効率性が重要であると考えられるので、今回の視察を十分踏まえた議論をしていかなくはならないと感じた。

産業厚生常任委員会

【食の循環によるまちづくり】

○日程 10月29日～10月30日

○議員

奥山 省三 佐藤 義一
佐藤 悦子 伊藤 操
佐藤 卓也 平向 岩雄
遠藤 敏信 山口 吉静
森 儀一

○視察地及び項目

1. 新潟県新発田市

食の循環によるまちづくり

2. 新潟県見附市

スマートウェルネスシティ総合特区

○所感

新発田市の食の循環による

まちづくりは、市民、事業者、市が毎日の暮らしの中で、食の大切さを意識し、食の環境におけるそれぞれの役割を理解し合い、行動すること、食の環境の流れを再生し、その循環をまちづくりに活かしていくものです。最終的には健康で心豊かな人材の育成、産業の発展、環境との調和、町の賑わい等の地域の活性化、市民生活の質の向上を目指すものでした。

【運動でいきいきまちづくり】

長寿社会を創造するスマートウェルネスシティ総合特区については、これからの少子高齢化の社会に向けて、歩くことを基本とすることで、「健康で元気なまち」を構築するというもの。健康作りに関心層を含む住民の行動変容を促し、高齢化、人口減少が進んでも持続可能な先進予防型社会を創り、地域活力の沈下を防ぎ、活性化に貢献することを目標とするものです。

新発田市は子供の頃からの食の循環の教育、見附市ではこれからの高齢化、長寿社会に向けての健康増進の取り組みが印象に残りました。

議会改革推進委員会を設置

議会改革を継続的に推進していくため、議会改革推進委員会を設置しました。市民にわかりやすい、開かれた議会を目指してがんばります。

【議会改革推進委員名簿】

| | |
|------|-------|
| 委員長 | 遠藤 敏信 |
| 副委員長 | 佐藤 卓也 |
| 委員 | 佐藤 悦子 |
| | 小関 淳 |
| | 下山 准一 |
| | 新田 道尋 |
| | 森 儀一 |

議会報告会に行こう！

いったい、なぜ「議会報告会」が必要なのでしょうか。

市民の皆様から、「議会の活動がよく見えない」というご意見をいただきます。

本年1月1日に施行されました「新庄市議会基本条例」は、「市民とともに歩む議会」「開かれた議会」の実現を目指し、議会の能力を高めながら、市民の福祉向上に貢献していくことを約束しています。

そのため、新庄市議会はより市民との接点を充実させ、議会活動をより多くの皆様に理解していただく必要があります。その約束を実現するための活動のひとつが、市民に議会の取り組みを報告し、参加者と意見交換などを行う「議会報告会」です。

「議会報告会」は、これまでご参加いただいた中の9割以上の皆様方から高い評価をいただいております。「議会の仕事が理解できた」、「議会報告会の意義を感じることができた」、「さらに議会が躍動することを望む」などのご意見をいただいております。

6月5日、6日に開催します第5回議会報告会に、多くの市民の皆様の参加をお待ちしております。

報告会の日程

■平成26年3月定例会の議会報告について（質疑応答）

○開催日時と会場

- A班 小関 淳、平向岩雄、石川正志、下山准一、佐藤悦子、沼澤恵一
- B班 小嶋富弥、奥山省三、遠藤敏信、清水清秋、伊藤 操、佐藤義一
- C班 森 儀一、小野周一、山口吉静、新田道尋、佐藤卓也、高橋富美子

| 開催日 | 会場 | 班 | 時間 |
|---------|---------|---|----------------------------------|
| 6月5日(木) | 萩野地区公民館 | C | 午後7時00分 ～8時30分 (午後6時30分開場) |
| | 八向地区公民館 | A | |
| 6月6日(金) | 新庄市民プラザ | C | |
| | わくわく新庄 | A | |
| | 雪の里情報館 | B | |

審査
白熱

体育施設の整備改修計画に質疑集中！

3月定例会の平成26年度当初予算審査を見据え、総務文教委員協議会及び全員協議会が昨年12月と本年2月に開催されました。

その際、社会教育課から平成26～28年度の体育施設整備改修計画についての説明があり、内容としては、平成26年度にテニスコートの改修及び体育館の耐震補強の実施設計、27年度に体育館の改修と陸上競技場の実施設計、28年度に陸上競技場の改修を行うというものでした。想定される総事業費は、それぞれ概算で、テニスコート1億8,300万円、体育館4億1,900万円、陸上競技場3億8,300万円です。財源の一部として、改修にはtotoによるスポーツ振興助成が充てられるとのことでした。

委員から、「体育館や陸上競技場の改修は理解できるが、なぜテニスコートの改修が一番先なのか。」といった優先順位を疑問視する質問や意見が相次ぎ、社会教育課からは以下のような説明がありました。

【市側の説明】

新庄市が考える喫緊の体育施設整備・改修の優先順位

- ①体育館
- ②陸上競技場
- ③テニスコート

しかし・・・

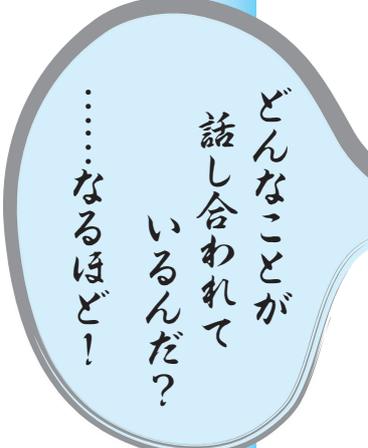
- 体育館と陸上競技場の改修には、前段で実施設計が必要である。
- totoによるスポーツ振興助成を有効に活用したい。



このことから・・・

- 実施設計の必要がないテニスコートを平成26年度に改修。
- 財政負担の平準化を勘案し、体育館は平成26年度実施設計を行い、平成27年度に改修。
- 陸上競技場は平成27年度に実施設計を行い、平成28年度に改修する。

事業の是非を問う審査が、3月定例会の予算特別委員会で行われ、賛否両論さまざま意見が出される白熱した審査になりましたが、平成26年度一般会計当初予算は本会議において賛成多数で可決しました。



政務活動費の報告

※残金については、市に返納しました。

| | 政務調査費 (円) | 支 出 (円) | | | 支出合計 | 残額 (円) |
|---------------|--------------|---------|--------|-------|---------|---------|
| | | 調査研究費 | 資料購入費等 | その他経費 | | 返納額 (円) |
| 開成の会 (5人) | 310,000 | 250,990 | 49,307 | | 300,297 | 9,703 |
| 絆の会 (6人) | 375,000 | 363,700 | 6,000 | 5,300 | 375,000 | 0 |
| 市民・公明クラブ (5人) | 300,000 | 197,830 | | 4,000 | 201,830 | 98,170 |
| 無会派 (1人) | 60,000 | 41,200 | 18,800 | | 60,000 | 0 |
| 無会派 (1人) | 35,000 | 0 | 0 | 0 | 0 | 35,000 |

